



視覚的支援シェアグループ あいらんど!

あいらんど!は、
目で見る"Eye"・私からの"I"・
愛情をもったの"愛" 3つ
の"あい"を大切にしています

「あいらんど!」は、長野県中信地区を拠点として
主に自閉症・発達障害・知的障害のある子供をもつ
親・支援者が**視覚的支援**を勉強する会です。

どんな活動をしているの?

(株)おめめどうやPECS®(絵カード交換コミュニケーション)などの
具体的な視覚的支援の考え方を学び、ICT活用、支援アプリやグッズなど
について情報をシェアしています。

理解のコミュ
ニケーション

表出のコミュ
ニケーション

環境調整
(構造化
・合理的配慮)

みとおし

カレンダー
スケジュール

えらぶ

自分で選ぶ
YesとNo

おはなし

伝えあう・わかり
あう

自分から伝えら
える

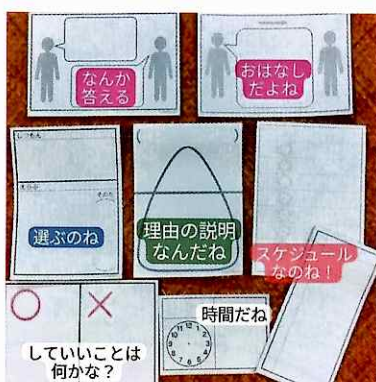
絵カード
筆談



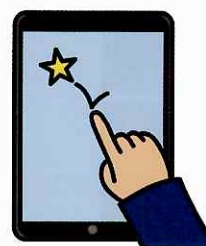
おめめどう@巻物カレンダー



みとおしビッグ
スケジュール



おめめどう@
コミュニケーションメモ



PECSブック

日々の発信は
インスタがメイン
です♪

Instagram



@eyeland_visualized

公式LINE (県内限定)



友だち追加するだけ!

LINE Voom (Web)



毎月1回公民館で学習会をしています。
お気軽にお越しください♪

お問い合わせはSNSメッセージ
またはメールまで
eyelandvisualized@gmail.com

連絡先

代表: 堂城 (たかぎ)

副代表: 幅 (はば)



視覚的支援って何？



自閉スペクトラム症 (ASD)・発達障害には、
他者との気持ちの共有や音声での会話のやりとりが難しい、などの
「対人関係や社会的コミュニケーションの困難」という特性があります。
また、見通しの立たない状況では不安が強いなどの特徴があります。

一方、視覚的情報の理解は得意であり、
文字や絵のほうが理解しやすいため、活動や手順、必要な情報は**文字や絵、写真を使
って**流れを一覧にして見せてあげると安心することができます。
視覚的に伝える事は、必須な支援方法・配慮であり、
メガネや車いすが必要な人と同じように、日常生活に無くてはならないものです。

障害を克服するのではなく、適切な方法で暮らしを支えます。



肯定的、具体的、視覚的な伝え方の工夫（「○○をしましょう」といったシンプルな
伝え方、その人の興味関心に沿った内容や図・イラストなどを使って説明するなど）

厚生労働省「自閉症・発達障害のある方の特性・配慮のポイント」より抜粋



つたえる・つたわるを
あきらめない。
居心地の良いくらし



視覚的支援は、自閉症だけでなく、ダウン症や
難病の方、認知症の方、高齢者やご家族全員が
楽になったという報告もたくさんあります。

合理的配慮って？

障害のある方々の人権が、障害のない方々と同じように保障
されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等
に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせ
ておこなわれる配慮のことです

配慮が何もない状態



見えるのは右の子だけ…

等しい (Equality) が..



等しい (高さが同じ箱) 配慮ではあ
るが、左の子には何も見えない。

公平 (Equity)



全員が見えるようになり、
不公平さが取り除かれた。

環境を整える (Justice正義)



壁が見えるフェンスになり、(社
会的) 障壁が取り除かれた。

*この絵は、アメリカのオリジナルの絵から、あいらんど！メン
バーから描いたものです。@Haba